

脆弱国家の人々に対する草の根支援からの一考察
-コンゴ民における紛争被害女性に対する支援を事例に-

NPO法人テラ・ルネッサンス
吉田 真衣

キーワード：脆弱国家、草の根支援、コンゴ民主共和国、紛争

はじめに

国際社会において「脆弱国家」に対する関心が高まって久しい。脆弱国家に対する支援では、国の能力が欠如しており、極度に脆弱な環境にあることを理由に、国家の能力構築や食糧配布などを中心とする人道支援が優先される傾向にある。しかし、今なお、多くの人々が脆弱な環境での生活を余儀なくされ、その数がさらに増えると予測されていることを鑑みると(OECD 2018)、こうした国家の能力構築や人道支援を中心とする援助が功を奏しているとは言い難い。本稿は、コンゴ民主共和国(以下、コンゴ民)を事例とし、脆弱国家における草の根の人々の支援における経済的自立を促す開発支援の意味について考察する。

1. 脆弱性について

脆弱国家とは、一様の定義はないが、「治安をはじめとする基本的な公共サービスを国民に提供する能力(そして意思)に欠ける国々」(武内：2009)を指すとされる。一方、脆弱性とは、守る術を持たず無防備であり、安全性に欠け、危機、衝撃、緊張に晒されている状態であると定義される(Chambers 2006 : 33)。また、脆弱性とは、単純に「貧困」と同義ではなく、(Chambers 2006 : 33)経時的であり、将来をも見据えた概念であることから、(Chaudhuri 2002)貧困ライン以下を一律に貧困とみなす貧困指標に比べて、人々の状況を動学的に捉えることを可能にする概念である。

2. 脆弱国家とその人々に対する支援の傾向

これまでの脆弱国家に対する支援には 2 つの傾向がみられる。1 つ目は、政府の行政能力強化や治安部門改革、民主化、グッドガバナンスなどの「国の能力強化」に対する支援である。2 つ目は、近年、人道支援が急増していることである(OECD 2018)。この 2 つの支援傾向からは、脆弱国家に対する支援をめぐる議論が「国家の能力構築」に集中し、草の根の支援の視点が欠けていること、また、人道支援は一時的に人々の状況を改善するが、根本的な問題の解決にはならないという点において、どちらも脆弱性の低減には至っていないことを指摘する。

3. コンゴ民における脆弱性の考察

OECD、世界銀行、米国の非営利団体「Fund for Peace」などがそれぞれ脆弱国家を特定しているが、そ

のいずれにおいても、コンゴ民主共和国は脆弱国家に指定されている。コンゴ東部の北キブ州と南キブ州では、140以上の武装勢力が跋扈しており、これら武装勢力の多くの司令官が性的暴行や子ども兵の徴兵、民族に基づく虐殺など、戦争犯罪に関与しているとみられている(Human Rights Watch 2019)。また、2016年～17年にかけてカサイ地域で起こった紛争は、その歴史上最も深刻な人道危機を引き起こし、脆弱な環境下における生活を余儀なくされている。

4. 事例分析

UNDP のパートナーとして、筆者が所属する NPO 法人テラ・ルネッサンスが実施したコンゴ民中央カサイ州にける 2 つの「紛争被害女性のエンパワーメントプロジェクト」の事例を通じて、脆弱な国家における長期的視点に立った開発支援の可能性について考察する。その結果、脆弱な環境下においても、これまで脆弱な人々だと認識され、保護されるべき対象とされていた人々であっても、支援前と比較して、一定程度の経済的自立を達成できることが確認できた。これは、たとえ脆弱性を生み出す社会構造下にあり、脆弱性を抱えていたとしても、経済的自立に主眼を置いた支援を受けることによって、経済的状況を改善し、経済的自立を達成することは可能であることを示している。

5. おわり

脆弱国家にといわゆるような極度に脆弱な環境下における人々に対する支援では、国の能力強化や人道支援が優先される傾向にあった。しかし、本稿で扱うコンゴ民の事例からは、極度に脆弱な環境下にあり、また脆弱性を生み出すような社会的構造を抱えているような環境であったとしても、開発支援を通じて人々の脆弱性を低減し、経済的自立を促すことが可能であることを示唆している。

参考文献

武内進一「第 1 章 紛争と国家」、稲田十一(編)『開発と平和 脆弱国家の支援論』有斐閣ブックス、2009年、21-36 頁。

Chambers, R. 2006. "Editorial introduction: Vulnerability, coping and policy". *IDS Bulletin* Vol.20 No.2, pp.3-40.

Chaudhuri, Shubham, Jyotsna Jalan and Asep Suryahadi 2002. *Assessing Household Vulnerability to Poverty from Cross-sectional Data: A Methodology and Estimates from Indonesia*. Discussion Paper #0102-52, Department of Economics, Columbia University.

Human Rights Watch 2019. *Democratic Republic of Congo Events of 2018*.

(<https://www.hrw.org/world-report/2019/country-chapters/democratic-republic-congo>)

OECD 2018. *States of Fragility 2018*.

(<https://www.oecdilibrary.org/docserver/9789264302075en.pdf?expires=1600098357&id=id&accname=guest&checksum=3C4331912B67B6B13660BB4E0A216324>)